

令和8年度（2026年度）熊本市E B P M支援等業務委託候補者選定審査基準

1 審査方法

審査会において委員が提案書等及びヒアリングを基に審査を行い、本業務の実施に最も適した業務委託契約候補者を選定する「プロポーザル方式」により行う。

2 審査手順

- (1) 提案書等受付時にデータ戦略課（以下「事務局」という。）にて提示金額が提案上限額以内であるかを確認する。提示金額が提案上限額を超えている場合は、その提案書は審査から除外する。
- (2) 各委員は、ヒアリング審査前日までに提案書等の記載内容を確認する。
- (3) 審査項目①⑩については事務局において事前審査を行い、審査会にて配点を決定する。
- (4) 各委員は、ヒアリング審査当日に「4 審査基準」に示した項目ごとに評価する。
- (5) 事務局は、(4)をもとに審査員ごとの各提案者の評価点数（合計）を算出する。

3 契約候補者の選定

- (1) 審査の結果、総得点の最も高い提案者（以下「最高得点者」という。）を契約候補者、次点の提案者を契約次点候補者として選定する。
- (2) 最高得点者が複数ある場合は、審査項目②～⑧の合計が最も高い者を上位とする。審査項目②～⑧の合計も同点の場合は、審査委員会の委員の合議で決定する。
- (3) いずれの提案も各審査員の評価点数（合計）の総計が半数未満の場合には、要求する水準に満たないものとして候補者の選定に至らないものとする。

4 審査基準

審査項目		審査基準	配点	
①	業務実績	○政令指定都市、都道府県、国において EBPM 関連業務（データに基づく政策立案・政策評価に係る支援、職員の EBPM の実践に向けた支援）の実績を有するなど、当該業務に対する実績を有しているか。	10	
②	執行体制及び業務工程表	○本業務の目的を適切に理解しているか ○業務フローに対する役割分担や人材配置が適切であるか。 ○業務内容を実現できるスケジュールが提示されているか。	10	
③	EBPM 実践支援業務	適切な支援想定	○個々の事業・施策における事情や進捗に応じ、円滑に業務を遂行するため、仮説設定やデータ分析等に関する適切な支援を想定しているか。	10
④		実践的・具体的な支援の提案	○個々の事業・施策に対する支援について、個々の案件の状況把握方法、支援に必要となる視点・留意点、支援の内容・手法および支援による効果などが、実践的・具体的に提案されているか。	10
⑤	BI ツールダッシュボード作成実践支援業務	適切な支援想定	○個々の事業・施策における事情や進捗に応じ、円滑に業務を遂行するため、仮説設定やデータ分析等に関する適切な支援を想定しているか。	10
⑥		実践的・具体的な支援の提案	○個々の事業・施策に対する支援について、個々の案件の状況把握方法、支援に必要となる視点・留意点、支援の内容・手法および支援による効果などが、実践的・具体的に提案されているか。	10
⑦	データ利活用人材の育成	研修内容（企画）	○カリキュラム、講義の内容や演習の進め方で、効果的な工夫がなされているか。また、データ利活用人材の育成として必要かつ効果的と思われる内容が提案されているか。	10
⑧		講師の人選・対応力	○実績があり説明が分かりやすい講師が適切に選定されているか。 ○受講生の理解状況を確認しながら、質問や対話を通じて主体的な気づきや行動を促すなど、受講生に寄り添った対応ができる講師か。	10
⑨	管理職に対するデータ利活用機運醸成のための講師派遣	○実績があり説明が分かりやすい講師が適切に選定されているか。	5	
⑩	EBPM 相談窓口	○回答者のスキル等、相談への対応体制は十分か。	10	
⑪	全体評価	○企画提案全体を通して、本業務の目的達成に貢献し、より効果的な業務実施が見込まれる提案となっているか	5	
合計			100	

【評価点】

基準	配点
A：非常に優れている	各項目の配点×1.00
B：おおむね良好である	各項目の配点×0.75
C：一般的である	各項目の配点×0.5
D：やや不十分である	各項目の配点×0.25
E：不十分である	各項目の配点×0.00